



ギャンブル依存症問題を考える会設立記念フォーラム

後援:こころのホスピタル町田副院長 蒲生 裕司、精神科医 佐藤 拓
協力:筑波大学医学医療系社会精神保健学准教授 森田 展彰(敬称略、順不同)

「依存症の正しい知識を得るためには？」 —企業、学校における依存症教育の必要性—

いよいよカジノ法案が審議入りし、ギャンブル依存症について注目が高まって参りました。そこで、今回の記念フォーラムでは、

- ◆ギャンブル依存症の基礎知識
- ◆何故、企業や学校に依存症教育が必要なのか?
- ◆依存症対策先進国アメリカの取り組み

について取り上げます。

ギャンブル依存症当事者、ご家族の皆さまはもちろんのこと、学校関係者の皆様、企業にお勤めの方々、人事ご担当者、産業医や産業カウンセラーの皆様方のご来場を心よりお待ちしております。

日 **時** 8月3日(日)PM1:30~4:30

参加費
1,000円
予約不要

会 **場**

目黒区中小企業センターホール
(東京都目黒区目黒2-4-36
目黒区民センター内)



基 **調** **講** **演**

「日本の企業における依存症教育の必要性」 森田展彰氏(筑波大学医学医療系社会精神保健学准教授)



筑波大学 医学医療系 社会精神保健学 准教授 森田 展彰 先生
医学博士。様々な不適応などの社会病理現象について、精神鑑定やフィールドワークを通して原因を解明し、精神保健対策について研究している。病院での診断・治療という枠組みにはおさまらないような、心理社会的な環境要因との兼ね合いで析出してくる精神的な問題へのアプローチを特徴とする。主要な研究テーマに、依存症問題を掲げている。

「次世代を担う若者たちへ」 山元賢治氏(元アップルコンピュータ(株)社長・(株)コミュニカ代表)



1959年生まれ、神戸大学工学部卒業。2004年7月アップルコンピュータ株式会社社長兼 米国アップル セールズ担当バイスプレジデント、同年10月アップルコンピュータ株式会社代表取締役兼務。2009年9月コミュニカ有限会社設立。2012年2月株式会社コミュニカ代表取締役就任。現在は経営コンサルティング、顧問活動、執筆活動を手掛ける傍ら、自らの経験を活かし社会人・学生向けの人材育成研修、英語教育に取り組んでいる。著書に『情熱を注いで、働く』『選ばれ続けるリーダーの条件』『伝説の元アップル・ジャパン社長の40講義「これからの世界」で働く君たちへ』『世界でたたかう英語』『外資で結果を出せる人出せ ない人』『ハイタッチ』などがある。

※イベント終了後、山元賢治氏の書籍販売、サイン会がごぞいます。

<お問い合わせ> 一般社団法人ギャンブル依存症問題を考える会
TEL 03-3555-1725 FAX 03-6280-5833
<http://www.gamblingaddiction.jp/>